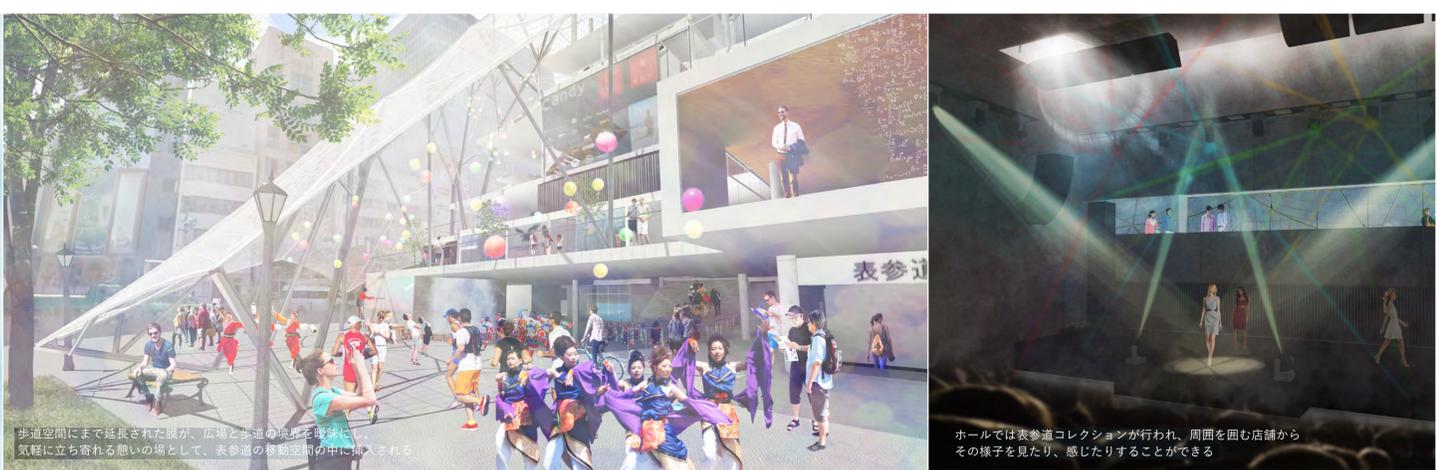


櫻が奏でる三重奏

～ 櫻会・観光客・市民が築く表参道の風景～

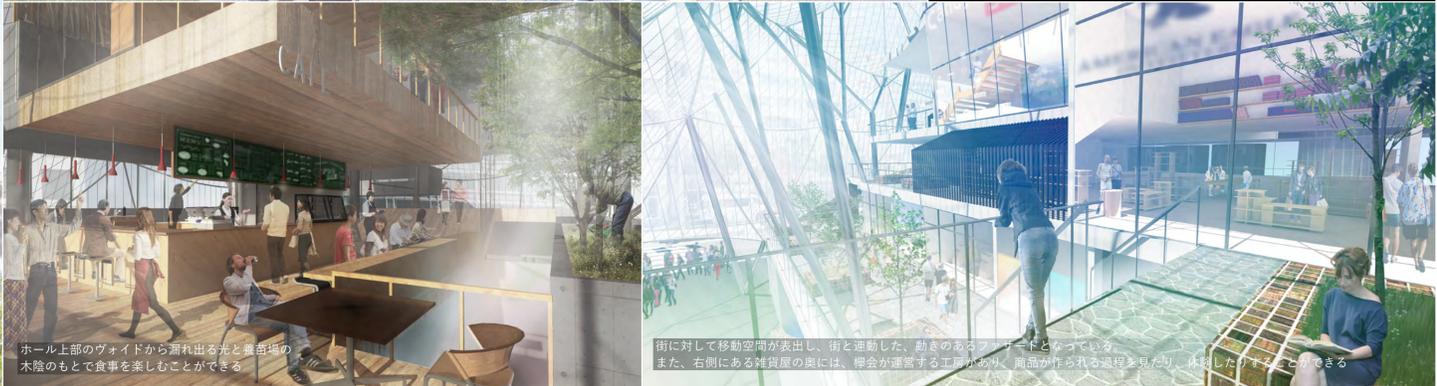
かつての参道の名残が都市の中に残り、新たな歴史が書きこまれた街～表参道～。トレンドの発信地としてファッションだけでなくグルメや雑貨屋などが数多く立ち並び、日々、観光客が街を往来している。それでもなお、街が美しく保たれているのは、古くから表参道を裏で支え続けてきた「櫻会」の存在があったからである。

今まで見えていなかった「櫻会」の活動を街へ表出させ、「櫻会」を軸とした街の風景を新たに形成する。表参道が変化を迎えようとしている今、「櫻会・観光客・市民」の関係を更新し、表参道の新たな文化風景を提案する。



歩道空間にまで延長された膜が、広場と歩道の境を曖昧にし、気軽に立ち寄れる憩いの場として、表参道の移動空間の中に導入される

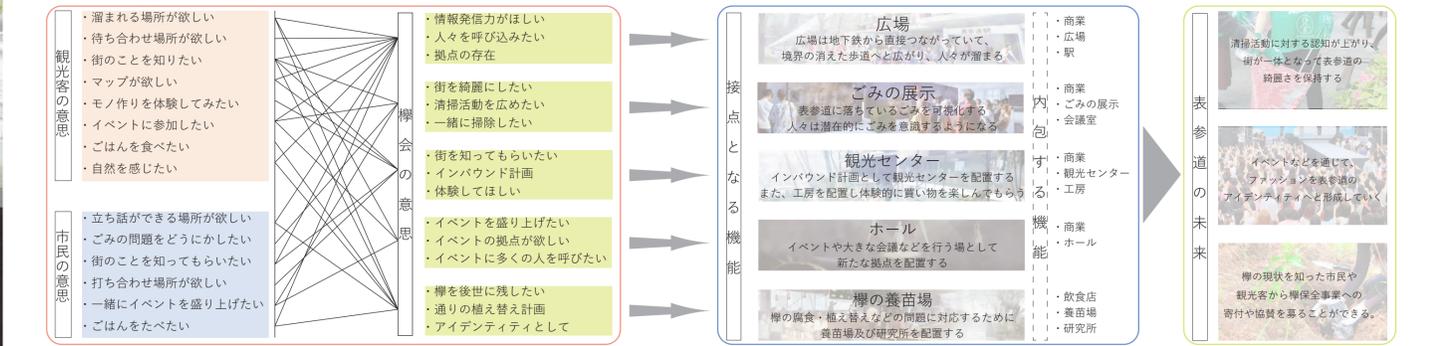
ホールでは表参道コレクションが行われ、周囲を囲む店舗からその様子を見たり、感じたりすることができる



ホール上部のヴォイドから洒れ出る光と養苗場の木陰のもとで食事を楽しむことができる

街に対して移動空間が表出し、街と運動した、動きのあるファサードとなっている。また、右側にある雑貨屋の奥には、櫻会が運営する工房があり、商品が作られる過程を見たり、体験したりすることができる

■三つの主体と交差するプログラム



■「櫻会」の存在と表参道の現状

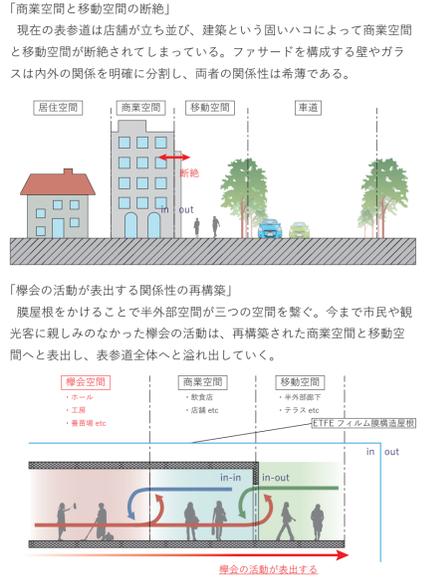
1973年に商店街振興組合として発足された「櫻会」は表参道の景観・環境を守るために環境活動を行ってきた。また櫻会の活動は清掃活動だけでなく、櫻の木診断やイベントの誘致、イルミネーションなどが行われ、徐々に街へと拡大してきた。しかし裏側には住宅街が存在し、市民は断絶された環境の中で生活している。そこで表参道のさらなる発展のため、市民を巻き込んで街として一体化した計画が必要であると考えた。



■構成ダイアグラム



■ゾーニング計画



■環境詳細断面図

